

【令和2年度点検】別添3_内部質保証に関する自己点検・評価シート(理工学部・大学院工学研究科共通項目)

学生支援（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>1-1 学生生活支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備しているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談・助言体制等一覧 ● 生活支援制度の利用実績が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-1_相談・助言体制等一覧(令和元年度)</u> ● 保健(管理)センター、学生相談室、就職支援室等を設置している場合は、その概要や相談・助言体制(相談員、カウンセラーの配置等)が確認できる資料 ● 生活支援制度の学生への周知方法(刊行物、プリント、掲示等)が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-1-01_学生総合相談室の周知</u> ・ <u>4-2-1-02_健康相談・カウンセリング等の周知</u> ・ <u>4-2-1-03_カウンセラー配置状況及び利用案内</u> ・ <u>4-2-1-04_就職相談の周知</u> ・ <u>4-2-1-05_就職担当教員一覧(令和元年度)</u> ・ <u>4-2-1-06_[保健管理センター]利用状況(令和元年度)</u> ・ <u>4-2-1-07_全学的支援体制図</u> ・ <u>4-2-1-08_チューター制の周知</u> ・ <u>4-2-1-09_チューター制実施要領</u> ・ <u>4-2-1-10_学生総合相談室規則</u> ・ <u>4-2-1-11_保健管理センター規則</u> ・ <u>4-2-1-12_キャリア・サポート・センター規則</u> ● 各種ハラスメント等の相談体制や対策方法が確認できる資料(取扱要項等) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-1-13_ハラスメント相談体制の周知</u> ・ <u>4-2-1-14_ハラスメントの防止等に関する規則</u>
<p>1-2 学生生活支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 課外活動に係る支援状況一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-2_課外活動に係る支援状況一覧(令和元年度)</u> ・ <u>4-2-2-01_サークル数一覧(令和元年度)</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、根拠資料とともに簡条書きで記述すること。

・ 該当なし

【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）

当該基準を満たす

当該基準を満たさない

優れた成果が確認できる取組

・ 該当なし

改善を要する事項

・ 該当なし

学生支援（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>2 留学生生活支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学生に対する生活支援の状況が確認できる資料（実施体制、実施方法、実施状況等） <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-3-02 2019 年度国際交流センター活動報告書</u> ・ <u>4-2-3-03 留学生チューターマニュアル 2019</u> ・ <u>4-2-3-04 「Resident Assistant」実施要項 2019</u> ・ <u>4-2-3-05 外国人留学生チューター・「Resident Assistant」勤務実績（令和元年度）</u> ・ <u>4-2-3-06 国際交流関係 大学独自の奨学金制度（令和元年度実績）</u> ・ <u>4-2-3-07 留学生宿舎入居状況（令和元年度）</u> ● 留学生に対する外国語による情報提供（健康相談、生活相談等）を行っている場合は、その資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-3-08 For Safety and Well-being2019</u> ・ <u>4-2-3-09 Resident Assistant 業務報告書例 2019</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学においては、国際交流センターが中心となり、積極的に以下の取組を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 室蘭工業大学私費外国人留学生支援奨学金（月額 3 万円）を 38 名に支給、室蘭工業大学短期留学生（受入れ）支援奨学金（月額 5 万円）を 14 名に支給した。 ➢ 合計 102 名収容可能な留学生宿舎（明德寮の一部・39 名、留学生宿舎 1（国際交流会館）・8 名、留学生宿舎 2（1RC4）・7 名、留学生宿舎 3（借上宿舎）・16 名）を用意した。 ➢ 大学主催の留学生向け行事を年間 10 件開催し、計 666 名の留学生、日本人学生、教職員等が参加し、交流を深めた。 ➢ 学外からの講師派遣依頼により、年間 18 件、計 34 名の留学生を小中学校等に派遣し、地域の国際交流事業に貢献した。 ➢ 学外の支援団体主催の行事及びボランティア活動に年間 19 件、計 289 名の留学生が参加し、地域住民と積極的に交流した。 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生に対して、学習指導・支援のためにチューターを配置し、生活指導・支援のために Resident Assistant を配置するほか、受入と派遣留学のための大学独自の奨学金制度を設置し、100 名を超える留学生に対応した宿舎の整備を行うなど、留学生に係る生活支援体制の充実に努めている。また、日本人学生及び地域住民との交流として学内外の行事・ボランティア活動に留学生が積極的に参加している。 	

改善を要する事項

・ 該当なし

学生支援（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>3 障害学生生活支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある学生等に対する生活支援の状況が確認できる資料（実施体制、実施方法等） <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-1-16 修学支援申請一覧（令和元年度）</u> ・ <u>4-2-4-01 障がい者支援に係る全学的支援体制図</u> ・ <u>4-2-4-02 国立大学法人室蘭工業大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応要領</u> ・ <u>4-2-4-03 障がいのある方への対応マニュアル</u> ・ <u>4-2-4-04 原議書（非公表）</u> ・ <u>4-2-4-05 配布通知（非公表）</u> ・ <u>4-2-4-06 障がいのある学生への対応マニュアル</u> ・ <u>4-2-4-07 別添）障がい者支援に係る全学的支援体制図</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

学生支援（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>4 経済支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生に対する経済面での援助を行っているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済的支援の整備状況、利用実績一覧 ● 奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-5 経済的支援の整備状況、利用実績一覧（令和元年度）</u> ● 日本学生支援機構奨学金等の利用実績が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-5-01 日本学生支援機構奨学生一覧（令和元年度）</u> ● 大学独自の奨学金制度等を有している場合は、その制度や利用実績が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-5-02 大学独自の奨学金制度（令和元年度実績）</u> ● 入学料、授業料免除等を実施している場合は、その基準や実施状況が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-5-03 大学院博士後期課程社会人学生に係る入学料免除実施要項</u> ・ <u>4-2-5-04 大学院博士後期課程社会人学生授業料免除要項</u> ● 学生寄宿舎を設置している場合は、その利用状況（料金体系を含む。）が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-2-5-05 授業料等の額並びに徴収方法等規則</u> ● 上記のほか、経済面の援助の利用実績が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

改善を要する事項

・ 該当なし

学生受入（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>1 学生受入方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示しているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生受入方針が確認できる資料
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書き</u>で記述すること。</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p>	
<p>改善を要する事項</p>	

学生受入（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>2-1 入学者選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学者選抜の方法一覧 ● 面接、実技試験等において評価の公正性を担保する組織的取組の状況を示す資料（面接要領等） ● 入試委員会等の実施組織及び入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ● 入学者選抜の試験実施に係る実施要項、実施マニュアル等 ● 学士課程については、個別学力検査及び大学入試センター試験において課す教科・科目の変更等が入学志願者の準備に大きな影響を及ぼす場合に2年程度前に予告・公表されたもので直近のもの
<p>2-2 入学者選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。 <p>※ 3年に一度の点検（次回実施予定：令和4年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生の受入状況を検証する組織、方法が確認できる資料 ● 学生の受入状況を検証し、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体的事例等
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を400字以内で記述すること。</p> <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料</u>とともに簡条書きで記述すること。</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p>	
<p>改善を要する事項</p>	

学生受入（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>2-3 入学者選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 認証評価共通基礎データ様式 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>5-3-1-00_入学定員充足率確認資料(令和元年度)</u> ● 実入学者数が「入学定員を大幅に超える」、又は「大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>5-3-1-01_入学意向調査(令和元年度)</u> ・ <u>5-3-1-02_DC指導教員一覧(2019年5月1日時点)</u> ・ <u>5-3-1-03_博士後期課程入学定員充足率確認資料(令和元年度～令和5年度)</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、大学院工学研究科博士後期課程工学専攻における入学定員が 130%を超えている状況であるが、留学生が占める割合が多く、また、文部科学省が実施している「国費外国人留学生の優先配置を行う特別教育プログラム」に採択され実施した入試等により入学した留学生の割合も多いため、同専攻の内訳について常に現状の把握に努めているところである。 <p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

施設整備（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>1 施設・設備の安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施設・設備における安全性について、配慮しているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設・設備の整備（耐震化、バリアフリー化等）状況（面積、収容者数）、利用状況等が確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-1-3-01 建物の老朽度、耐震性能及び改修年次計画</u> ・ <u>4-1-3-02 構内バリアフリーMAP2019</u> ・ <u>4-1-3-03 施設整備計画（マスタープラン）2019</u> ● 安全・防犯面への配慮がなされていることが確認できる資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-1-3-04 構内セキュリティーMAP（非公表）</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <p>・ 該当なし</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <p>・ 該当なし</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>・ 該当なし</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>・ 該当なし</p>	

施設整備（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>2 ICT 環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編） <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-1-4-01.学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）回答（令和元年度）（非公表）</u> ・ <u>4-1-4-02.学生ポートフォリオについて</u> ・ <u>4-1-4-03.Moodle の利用について</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が利用可能なICT環境として、学生ポートフォリオを整備している。学生ポートフォリオでは、学生自身が履修状況、成績情報、授業出欠状況が確認できるほか、コース分属以降はコース学習目標別GPA分布が表示され、学習達成状況の確認が可能となっている。また、授業においては Moodle が利用されており、学生への連絡、資料の配布、課題の出題や回答など、有効活用されている。 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに箇条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p>■ 当該基準を満たす □ 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

施設整備（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>3 図書館整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術情報基盤実態調査(大学図書館編) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4-1-5-01_学術情報基盤実態調査(大学図書館編)回答(令和元年度)(非公表)</u>
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	
<p>改善を要する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 該当なし 	

施設整備（点検実施年度：R2 年度（R 元年度実績））	
評価基準	評価基準に係る根拠資料・データ欄
<p>4 自主的学修環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されているか。 <p>※ 毎年度点検</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主的学習環境整備状況一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-1-6 自主的学習環境整備状況一覧（令和元年度）
<p>【特記事項】</p> <p>①上記の各分析項目のうち、根拠資料では、分析項目の内容を十分に立証できないと判断する場合には、当該分析項目の番号を明示した上で、その理由を 400 字以内で記述すること。</p> <p>・ 該当なし</p>	
<p>②この基準の内容に関して、上記の分析のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、<u>根拠資料とともに簡条書きで記述すること。</u></p> <p>・ 該当なし</p>	
<p>【基準に係る判断】 以上の分析内容を踏まえ、当該基準を満たすか満たさないか。（該当する口欄をチェック■）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該基準を満たす <input type="checkbox"/> 当該基準を満たさない</p>	
<p>優れた成果が確認できる取組</p> <p>・ 該当なし</p>	
<p>改善を要する事項</p> <p>・ 該当なし</p>	